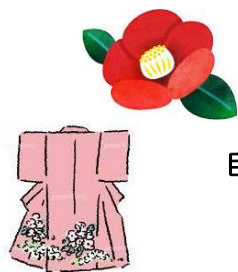


かやっ子



与謝野町立加悦小学校 研究推進委員会
令和2年10月16日号

自ら考え、かかわり、挑戦する児童の育成
～言葉を通した確かな学び～



～豆知識～

脳のはたらき

秋は気候がよいこともありいろいろな表現で表されます。「読書の秋」もその一つで、子どもたちは読書に親しんだり読書感想文を書いたりしています。他にも、学校では「書く」という活動がたくさんあります。「書く」ということで、どんな力がつくのでしょうか。

「書く」ことは、「左脳（言語や計算力、論理的思考を司る）」を使い、文章を書くには「考える」こともしています。この「考える」ことは「右脳（情報を知識として認識し整理する役割）」を使います。ということは、「文章を書く」という活動は、両方の脳をフル回転させている、ということになります。

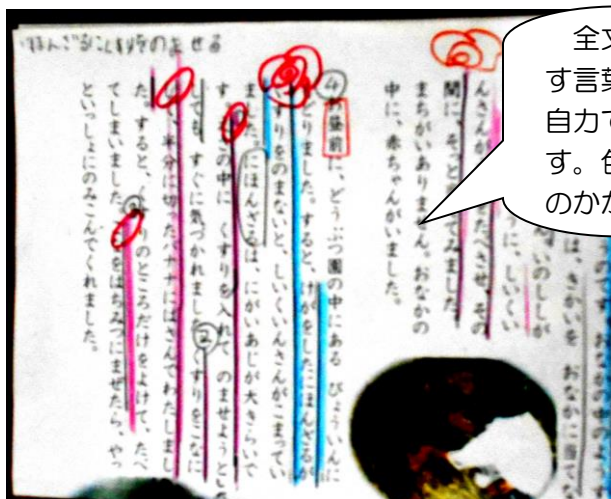
国語だけでなく、他の学習でも、これまでの学習を生かせないかと脳の引き出しから情報を取り出したり、今日の学習を整理して振り返りを書いたりするなど、「考える」「書く」ことをしているので、脳はフル回転です。

生活の中でも、パソコンやスマホなど打ち込めば文字に表されて便利ですが、「考えて書く」ということも意識し、子どもも大人も脳を活発化させましょう！

「どうぶつ園のじゅうい」

2年1組で、国語の研究授業を行いました。「時間や事柄の順序を考えて読む」「自分の経験と結び付けて読み感想をもつ」という目標に向かい、今回は獣医さんの仕事とその工夫について学習しました。

今年度から実施となった学習指導要領では、「何ができるようになるか」「何を学ぶか」「どのように学ぶか」を重視しています。授業で学んだことが生活に生かせるように、未知の状況にも対応できる力をつけるために、どの教科等でどのように学ばせるか、などを研究しています。「〇〇ができるようになった」「〇〇はこうすれば分かる」といった実感がもてるよう、日々励んでいきたいです。



全文を1枚に収めたシートを使って、「時間を表す言葉」「獣医さんの仕事」「仕事の工夫」などを自力で読んで見付け、グループで交流し確認します。色分けしてあるので、何について学んでいるのがよく分かります。

読み取ったことを全体で確認します。薬を飲まないにほんざるに、いろいろな工夫をしながら薬を飲ませる獣医さん。「やっと」「ようやく」という言葉から、「飲んでくれてほっとしている様子」「よかったと思っている」など、獣医さんの気持ちも想像しました。



4年生の総合的な学習の時間「ちりめんたんけん」のまとめです。見出しの工夫や絵や図の活用、読みやすいように丁寧な文字を書いたり、文字の大きさや字間を考えて書いたり等、読む相手を意識した新聞に仕上がっています。ここでも、「考える」「書く」という脳が働いていますね。

